

令和8年度事業計画

1 基本方針

令和7年度は、令和3年度に策定した京都SKYセンター改革計画の理念を踏襲し、以下の3つの事業執行方針のもとで、コロナ禍からの完全な脱却と回復を目標として取組みを強化し、シニアが生きがいとやりがいを持って地域社会の中で元気に活躍する京都府づくりを推進してきたところである。

- ◇ 京都市内集中型から府域全域型へ
- ◇ 利己実現型から社会貢献型へ
- ◇ シニア間交流型から多世代交流型へ

こうした取組みにより、事業面についてはコロナ禍以前の実績水準にまでほぼ回復するとともに、法人経営の視点からの事業収支の相償についても十分に留意し、概ね健全な執行状況の中で進めることができたところである。

一方で、当センターは会員制度をもって運営しているところであるが、近年コロナ禍からは回復したものの、個人会員については横ばいの状況、法人会員にあっては減少傾向となっている。

このため、当センターの運営の柱である会員の維持、増強を図るため、会員の満足度を向上させる事業を企画実施するとともに、法人会員との連携も一層強化するなど、会員ニーズに沿った魅力的な事業を展開していく。

なお、今後、京都府の厳しい財政状況から補助金の削減等によって団体運営がますます厳しくなることが予想されることから、団体の将来像を見据えながらこれまでの改革計画の趣旨を踏まえ次のプランを検討していくなど、団体運営の一層の安定化に向けた取組みを進めていくこととする。

2 事業計画

(1) 健康・生きがいつくり普及啓発及び情報発信事業

① 「全国健康福祉祭（ねんりんピック）参加者派遣事業」

令和8年11月7日（土）～10日（火）

埼玉県で開催される「第38回全国健康福祉祭さいたま大会」【ねんりんピック彩の国さいたま2026】に京都府選手団を派遣

本年4月以降、京都府と連携し派遣選手を選考する各種競技の予選会等を支援

② 「SKY ふれあいフェスティバル 2026 開催事業」

シニアとともに多様な世代が人生100年時代をともに考える機会を提供するため、次の3つのイベントを隣接会場で同時開催し出展者等の利便性の向上を図るとともに、相乗効果による来場者の増加を目指す

■ 「SKY 人生100年フェスタ・R8」

◇開催日 令和8年11月28日（土）29日（日）

◇場 所 京都市勧業館みやこめっせ

◇内 容 ・シニアの暮らし情報コーナー（企業・団体などの啓発）
・SKY サークルコーナー（体験・紹介）
・わくわくステージ発表会（シニアサークル、小中高生の発表など）
・多世代交流コーナー（高校大学生による呈茶、農作物の販売、手芸品販売、健康づくりなど）
・スマホの勉強会 ・スタンプラリー、大抽選会 ・SKY 紹介コーナー

■ 「SKY ふれあい作品展 2026」

◇開催日 令和8年11月27日（金）～29日（日）

◇場 所 京都市美術館別館

◇内 容 ・シルバー美術展（日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真）
・SKY サークル作品展 ・企業OB作品展 など

■ 「第7回 SKY ボランティア活動見本市」

◇日時・場所 「SKY 人生100年フェスタ」と同時開催

◇内 容 社会貢献活動を希望するシニア世代と、ボランティア活動するグループをマッチング

③ 「情報誌 SKY 発行事業」

会員サービスの大きな柱として、シニアの健やか、快適、豊かな生活に役立つ様々な情報を集め、京都府等の行政情報等も満載した情報誌を発行

- ・発行時期 隔月（奇数月）発行
- ・発行部数 5,000 部
- ・配布先 公的機関、提携施設、会員等

(2) 生涯現役の促進及び地域人材養成関連事業

① 「京都 SKY シニア大学開催事業」

京都 SKY センターのメイン事業として、高齢者が健康・生きがいつくりの増進を図りながら、地域人材となるスキルの獲得や、社会参加意識の醸成を図るため、1年制の京都 SKY シニア大学を開講

令和8年度は、次の2コースを新設

- ・『デジタルメディアコース』
スマホや各種のデジタルツールを用いてアルバムや絵本・自分史などを作成することにより、シニアライフの充実を目指す
- ・『基礎から学ぶ・山歩き入門コース』
中高年の登山ブームの中で遭難事故等も増加しており、低山であっても正しい山歩きの手法を学習し、健康で独自に山行できる高齢者を育成

《概要》

- ◇開講期間 1年間（5～3月）
- ◇講座数 月2～4回（年間約20回前後程度）
- ◇募集定員 780名
- ◇コース等 全10コース 上記新コース以外の既存8コース
「歴史・京都学」「健康長寿」「アクティブシニアライフ」
「スポーツ」「山城再発見」「新・京都見聞」「里山自然体験」
「ガイドが魅せる京都（2クラス）」

② 「人生100年シニアパワー結集事業」

イ「生涯現役社会推進事業」

地域のSKY生きがいつくり推進員、社会福祉協議会、老人クラブ、NPO等と連携しながら、シニアが地域の担い手として活躍できるようにスキルアップ研修等を行うとともに、地域活動等とのマッチングを行い、シニアの活躍を支援する。

具体的には、運転ボランティア、車いすメンテナンス、傾聴ボランティアなど福

祉ボランティア関係の技能を身に着けるためのスキルアップセミナーを開催するほか、おもちゃ病院、パソコンお絵描き、紙芝居、朗読など子育てで支援に参画するシニアの育成並びに活躍の場の提供等に積極的に取り組む。

また、年々内容が充実してきている、地域貢献活動への参加意欲のあるシニアとボランティア団体等とのマッチングを行う「SKY ボランティア活動見本市」の第7回目を「SKY 人生 100 年フェスタ・R8」と同時開催する。

さらに、SKYシニア大学やセミナー受講生などSKYセンター会員を中心に、ボランティアスキルの養成から地域での活動までを一貫して支援する「シニアボランティアバンク」の取組を強化し、地域でシニアが活躍できるよう、より積極的に取り組む。

ロ「SKY 地域活力創生事業（生きがいつくり推進員活動支援事業）」

人口減少・少子高齢化の進行により地域社会の過疎化・活力低下が喫緊の課題となっており、こうした課題解決の一助とするため、府内各地の生きがいつくり推進員をはじめ、市町村、老人クラブ、各種団体等の協力を得ながら賑わい創出など地域活力の創生につながる多様なイベント・事業を推進する。

ハ「中高年・シニア社会活動支援事業」

公的機関や民間企業 OB・OG の方々等で構成するイベント企画運営委員会を設置し、シニアの視点に立った多彩なイベントを企画・実施する。

具体的には、ウォーキング、歴史散策、社会見学などシニア世代に関心の高いイベントを実施するほか、令和5年度から働く中高年・シニア世代も参加しやすいように進めてきた土日イベントの開催を継続し、現役で働き続けるシニアの参加をより一層促進する。

③ 多世代交流、情報提供事業

イ「多世代交流事業」

主として高校生との交流を通じてシニアの健康づくり・生きがいつくりを促進するとともに、高校生には社会貢献活動の貴重な実体験の場を提供する。

府全域の6つの連携協定締結校（清新、峰山、大江、清明、京都すばる、木津）とタイアップして、生徒、シニア、介護予防サポーター、NPO 関係者等が参画し、健康体操や脳トレ、スマホ講習等の介護予防を行う「ねんりんサロン」や多世代交流バス研修を行うほか、SKY 人生 100 年フェスタ R8 に設ける多世代交流コーナーに府立高校の参画をコーディネートする。

ロ「SKY 学活セミナー開催事業」

シニアにとって最も関心の高い介護、終活、相続等のセミナーや、シニアライフ

の充実に寄与する健康・生活・趣味関係の講座に加え、傾聴・手話・子育て・介護など社会貢献活動に繋がるセミナーとともに、スマホ活用講座など現代社会のシニアのニーズに的確に対応するセミナーを積極的に開催していく。

また、各種セミナーの中でも、SKY 法人会員とタイアップした新しいタイプのセミナー（資産運用と証券投資、保険活用、お掃除セミナー、シニアドライバー安全運転、幸せと生きがい講演など）や、「京都近郊の名山を歩くシリーズ」が人気となって北部地域からの参加も増えていることから、令和8年度もこうしたセミナーの継続開催にも注力する。

（3）情報相談、会員関連事業

① 「高齢者総合相談事業」

シニアやその家族等が抱える生活全般にわたる悩み事等の相談に対し、相談者の思いに寄り添って懇切・丁寧に対応する。生活・福祉等に関する一般相談に加え、法律（財産管理等）に関する専門相談にも対応する。

② 「高齢者生活・福祉関連情報提供事業」

エンディングノートの販売・啓発、終活・介護離職予防セミナー等への講師派遣、老人福祉施設等に関する情報提供、救急医療情報キットの提供、介護関連ビデオ／DVD の貸出し等を実施する。

③ 「SKY サークル活動支援事業」

SKY センターの会員で結成されている文化系・スポーツ系のサークル・同好会活動に対し、ハード・ソフト両面から支援するとともに、サークル代表者でつくるサークルネットを通じて行われるサークル間の交流・連携を促し、シニアの健康づくり、生きがいづくり、仲間づくり活動を活発化する。

④ 「SKY センター会員の集い事業」

SKY センターの事業活動に賛同し、支援・協力をいただいている法人会員に感謝の意を伝えるとともに、会員同士の相互交流の機会を提供するため、法人会員の集いを開催する。

また、多くの個人会員にも、SKY センターの事業への積極的な参加や運営に協力いただいております。こうした個人会員への謝恩還元として、SKY 会員の集いやバスツアー等を実施し会員の更なる増加を目指す。